



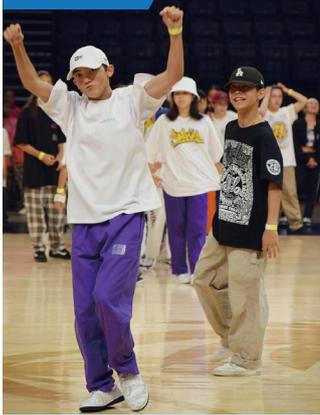
7/29~30

FIBA BASKETBALL WORLD CUP 2023

# FIBAバスケットボール ワールドカップ開催記念

1か月前イベント 沖縄アリーナ

沖縄アリーナにおいて、“ONE MONTH TO GO FESTLIVAL IN OKINAWA”ワールドカップ開催記念1か月前イベントが開催されました。世界のスタープレイヤーが熱い戦いを繰り広げる舞台で催されたイベントで、開催への機運が盛り上がりを見せました。



7/15

## アスリートからバスケ を学ぶ

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催を前に「アスリート交流事業」が実施されました。山内盛久選手と新城真司元選手が山内中学校を訪れ、山内中学校男女バスケットボール部59人へバスケ指導を行いました。

山内選手は「まずはバスケを楽しんでほしい。楽しんで続けられたからプロに繋がった。日本のみでなく世界を見て吸収してほしい」と激励の言葉を贈りました。



7/9～8/13

### 沖縄市の玄関 中の町をきれいに!

FIBAバスケットボールワールドカップ2023に向け、世界各地から沖縄市への来客に対するおもてなしとして、中の町自治会はグリーン作戦(地域の清掃活動)を行いました。

初日のグリーン作戦出陣式には約150人の地域住民らが参加。宮城宏治自治会長(中の町自治会)は「各種イベントで訪れる人々をきれいな中の町でもてなしたい。めんそーれ沖縄市」と意気込みを話しました。



7/6

### フィンランド料理を給食で

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催まであと50日となる7月6日、市内の小学校で出場国フィンランドの料理が給食として提供されました。

提供されたフィンランド料理は、ロツソリ(サラダ)、シエニ・ケイト(きのこのクリームスープ)、ペルナラーティッコ(ジャガイモのグラタン)。児童は、「いろいろな味がしておいしかった」と感想を話しました。



7/25・27

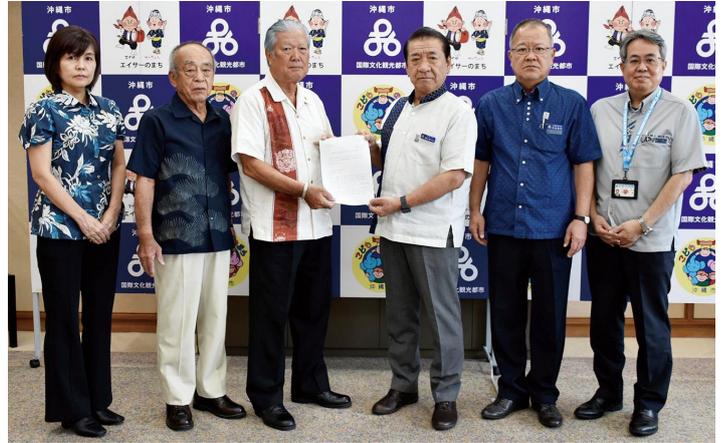
### 大型イベントを前に中心市街地パトロール強化

FIBAバスケットボールワールドカップ2023(W杯)など大型イベントを控える中、市の中心市街地の街頭パトロールの強化など防犯対策について、25日に沖縄警察署玉那覇潤署長へ要請、27日に沖縄地区防犯協会宮里友常会長へ協力依頼が行われました。

沖縄市で開催されるW杯や沖縄全島エイサーまつりなどでは、市民をはじめ、県外、海外からもたくさんの観光客が訪れます。市の繁華街が賑わいを取り戻しつつある中、桑江市長は「一緒になって防犯のために取り組んでいただきたい」と協力を求めました。



△沖縄警察署 玉那覇潤署長へ要請



△沖縄地区防犯協会 宮里友常会長へ協力依頼

7/29

### コンセプトは「THE CHANPURU」 REF沖縄アリーナ オープン!

コザ運動公園前のサッカー場跡地に、県内初のパークPFIを導入した「REF沖縄アリーナ by ベッセルホテルズ」が8月1日に開業するのを前に、セレモニーが行われました。

ホテルには、沖縄アリーナや沖縄全島エイサーまつりを一望できる屋上テラスに、宿泊者以外も利用できるプールとバーを併設。琉球ゴールデンキングスとコラボした部屋など150の客室を備え、サウナ付き大浴場やアート作品を多数展示するなど、様々な要素がちゃんぶる一されたコザらしいホテルとなっています。

\*パークPFI(公募設置管理制度)・・・民間企業のノウハウを活かした公園施設の設置又は管理を行うことができる制度



マイチロ



マイ広報誌



子育て



健康

特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



7/21~22

# 「姉妹都市紹介」 第7回沖縄フェスティバル 姉妹都市「東海市」にてエイサーイベント開催



本市の姉妹都市である愛知県東海市において、梅雨明けの夏の日差しが降り注ぐ中、第7回沖縄フェスティバルが開催されました。

21日は、「うちなーミュージックナイト」として、招待された中の町青年会によるエイサー演舞を皮切りに、宮古民謡保存会、北谷町出身で名古屋を拠点に活動する与那覇政克with Mamiなど沖縄の歌三線が観客を魅了しました。

22日は、「エイサーナイト」として、中の町青年会のほか、東海地方の沖縄県出身者やエイサーが好きな人々で構成するエイサー団体が出演。その中でも「東の町エイサー」は、東海市の職員らが中の町青年会のエイサーを手本に練習を重ねてきました。今回は、中の町青年会とのコラボレーションで演舞を披露しました。

2日間にわたる沖縄フェスティバルの最後を飾ったのは、中の町青年会。会場の興奮は最高潮に達し、演舞が終了した後に異例のアンコールの音が会場から起こりました。最後にカチャーシーで幕を閉じようとしたのですが、興奮は冷めやらず、2度目のカチャーシーで大勢の観客が入り乱れて、会場には沖縄の旋風が巻き起こりました。



東海市は愛知県の知多半島の西北端に位置する人口約11万3千人の都市で、臨海部には鉄鋼関係の企業が立ち並び、中部圏最大の鉄鋼基地として発展しています。また、洋ランの栽培も盛んで、豊富な種類に加え、オリジナルの品種も生産されており、花の生産が全国一の愛知県の中でも有数の産地となっています。



7/8



# PEACEFUL LOVE ROCK FESTIVAL'23

## SINCE 1983



「愛と平和」を掲げるオキナワンロックの祭典「第38回ピースフルラブ・ロックフェスティバル2023」がコザ・ミュージックタウン音楽広場で行われました。

フェスティバルには、バンドインターハイで優勝した高校生バンドNico、沖縄市の兄弟都市である大阪府豊中市のBuddhadatta、ビセガネ獣、サイドウェイズバンド、SSカンパニー、カッチャンTribute Band、REVERSE、JETの計8組の個性豊かなバンドが出演。約1300人の観客が訪れ、沖縄の夏の風物詩に熱狂的な盛り上がりを見せました。

カッチャンTribute Bandでは、在りし日のかつちゃんのライブ映像を流しながら熱い演奏を披露。リードギターのKENちゃんは、「かつちゃん、ありがとう!ご苦労様!!Rock will never die!!!」と天国のかつちゃんへ言葉を贈りました。

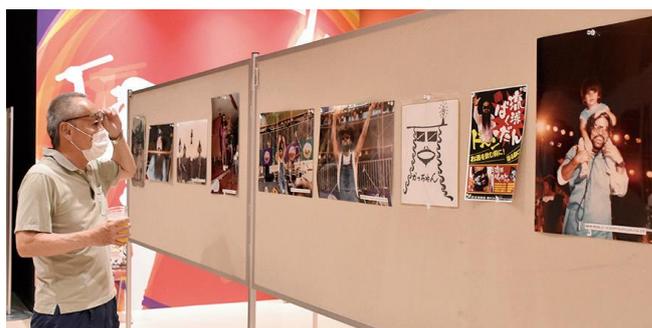


7/2~9

### 「ヒゲのかっちゃん」追悼展

今年4月に他界した沖縄ロック界のレジェンド「かつちゃん」の愛称で親しまれた川満勝弘さんの生きざまを伝える写真展「ヒゲのかっちゃん追悼展」がエイサー会館で行われました。

会場には1970年代から80年代のパフォーマンス写真やライブのチラシなど40点ほどが展示され、多くの来場者が奇抜なパフォーマンスで会場を沸かせた生前のかつちゃんの姿を堪能しました。ピースフルラブ・ロックフェスティバルに合わせ、フェスの最多出演者だったかつちゃんを追悼しようと企画されました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ





7/16・23 沖縄の夏の風物詩 エイサーまつり

市内各地でエイサーまつりが開催されました。

16日には、若夏公園で「第16回あがりな〜ざとエイサー祭り」が行われ、主催の東青年会に加え、市内外合わせて8団体の青年会が演舞を披露しました。

23日には、山内中学校で「第21回風山祭」が行われました。風山の会の諸見里青年会、久保田青年会、南桃園青年会、山里青年会、市内外のエイサー団体のほか、旗頭やダンス団体も出演。カチャーシーの後は「第4回やまもも花火祭」の花火が夜空に上がりました。4年ぶりの祭りに多くの来場者が訪れ大盛況となりました。



7/5 市議会で救急対応シミュレーション

緊急時を想定し、迅速かつ確かな応急手当を実施することを目的に、6月定例会において、緊急時対応救急シミュレーションが実施されました。本会議場において、議員が不調をきたしたことを想定し、市議会議員及び市職員が連携し訓練を行いました。

シミュレーション後は、人形を使った胸骨圧迫やAEDの取り扱いについて、個別に習熟に努めました。



7/5 子ども委員長がイベント開催を告知

一般社団法人 沖縄青年会議所の地域・青少年委員会 子ども事業実行委員長の比嘉俊太さん(小学5年)らが桑江市長を表敬訪問しました。比嘉さんは自身が中心になって考えたイベント「夏休みかけこ教室×バネ人間ショー」(7/27開催)を行うことを告知しました。

比嘉さんは、「みんなにイベントを楽しんでほしい」と、約1年前から当イベントの構想を練り、今回の開催にこぎつけました。



7/10 県産品優先使用の要請

県産品奨励月間実行委員会の古波津昇会長らが市役所を訪れ、県産品の優先使用についての要請書を平田副市長と瑞慶山市議会議長に手渡しました。

平田副市長は「県産品優先使用について、県内の経済力を高め、産業振興・発展するものと考えている。市としてこれからも奨励し、取り組んでいきたいと思っております」と話しました。



7/11 教育委員辞令交付式

教育委員会委員の辞令交付式が行われ、6月定例会において任命の同意を得た、仲本普さんに桑江市長から辞令が交付されました。

任期は、令和5年7月11日から令和9年7月10日までとなります。桑江市長はあいさつで「これまでの知見を活かして頑張っていたほしい」と激励しました。



7/7~14

### おりひめジャパン強化合宿歓迎セレモニー

市体育館にてハンドボール女子日本代表おりひめジャパンの強化合宿が行われ、8日に歓迎セレモニーが行われました。

セレモニーでは、コザ高校、普天間高校、知念高校のダンス部が歓迎の舞でもてなしました。

沖縄県ハンドボール協会の宮城靖会長は「パリ五輪アジア予選前の仕上がったハンドボールを子ども達に見せてほしい」と期待を寄せました。



7/10

### JICA海外協力隊の表敬訪問

JICA海外協力隊の青年海外協力隊として8月から約1年半の期間、派遣される高嶺香代子さんと高江洲佳絵さんが、市役所を訪れ、意気込みを語りました。

高嶺さんはスリランカに、高江洲さんはブータンに、それぞれ現地の学校で体育の授業や教員への指導を行うことを目的に派遣されます。

高嶺さんは、「物資が乏しい中、体一つで行える体力づくりに取り組んでいきたい」と話しました。



7/11

### 健康づくり頑張る自治会応援表彰

市民の健康づくりを推進・実践している自治会を表彰する「健康づくり頑張る自治会応援表彰」が市役所で行われました。

健診受診率や禁煙・飲酒に関する周知・健康づくり活動などにポイントを付け上位5自治体を表彰し、令和5年度の受賞は、上位から東自治会（上江洲安則会長）・美里自治会（久高唯史会長）・古謝自治会（知念信恒会長）・山内自治会（廣山實会長）・中の町自治会（宮城宏治会長）です。



7/11

### 伝えたい思いを堂々と発表

第38回沖縄市「少年の主張大会」が沖縄市農民研修センターで開催され、市内の中学生代表7人が登壇しました。

日常生活で考えたこと等を自由な発想で堂々と発表。越来中3年の島袋いおりさんの「人と違ったっていいじゃないか」、安慶田中3年の仲宗根果歩さんの『優勝への道』が最優秀賞に選ばれました。2人は、9月4日に開催される中頭地区大会へ市代表として派遣される予定です。



7/11・14

### ごみを減らそう!クリーン指導員が美東小へ

美東小学校4年生を対象に、環境学習の一環として、市のクリーン指導員らによる「ごみを減らす為にできること」の出前講座が行われました。

児童たちは、O×クイズなどで楽しくごみの分け方・出し方や、ごみを減らすための地域の取り組みについて学習しました。

クリーン指導員は行政と市民をつなぐ地域のリーダーとして、ごみ減量やリサイクルの推進に向け活動を行っています。



7/18

### 消防活動協力者へ感謝状贈呈

4月に市照屋で起きた火災の消火に協力し、人命の危険や火災の延焼拡大を防いだとして、田場盛藤さんに桑江市長から感謝状が贈られました。

飲食店を経営する田場さんは、料理の仕込みをしている最中に、近くの住宅からの火事の知らせを受け、初期消火にあたりました。桑江市長は、パニックにならずに消火にあたったことを「勇気ある行動」と称えました。



マチロ



マイ広報誌



子育て



健康

特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ



7/18 沖縄の太陽になるため勝ち続ける

プロ卓球リーグTリーグの琉球アスティダを運営する琉球アスティダスポーツクラブ株式会社の早川周作代表取締役会長らが市役所を訪れ、琉球アスティダ2022-2023シーズンの優勝報告および2023-2024シーズンが7月29日に開幕する旨を桑江市長に報告しました。早川会長は「必ず連覇する。沖縄の太陽になるために勝ち続ける」と新シーズンへの意気込みを語りました。



7/19 50周年を記念して寄付金贈呈

昭和瀝青工業株式会社 沖縄営業所開設50周年式典にて、濱本博司代表取締役より沖縄市へ、50周年を記念して50万円の寄付金が贈られました。同社は、将来の人材育成に向けた県内初の民間合材試験所を沖縄市へ新設する予定です。

平田副市長は「建設産業における産学官連携フィールドの提供等は沖縄県の発展を後押するもの。心強い限り」と述べました。



7/22 ワクワク♪夜の動物園

沖縄こどもの国で「アニマル夜市」と「サタZOOナイト」が同時開催され、アニマル行燈(あんどん)で彩られた園内は、たくさんの親子連れらで賑わいました。

「アニマル夜市」では、夜行性動物クイズや灯火採集の昆虫観察などが子ども達に大人気。「サタZOOナイト」では、昼間とは全く違う夜行性動物の観察に、参加した親子は「涼しい時間帯から、普段見られない動物園をゆっくり楽しめて良かった」と満喫した様子でした。



7/27 美東男子バレーボールクラブ 全国大会へ

美東小学校の美東男子バレーボールクラブが市役所を訪れ、「第43回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会」で優勝を果たし、8月に関東各地の会場で行われる全国大会へ出場することを桑江市長へ報告しました。

キャプテンの小嶋秀弥さんは「全国大会では県代表として堂々とプレーし、一戦一戦全力でがんばります」と宣言しました。



7/29 「沖縄市ファミサポ」20周年記念式典

県内で初めてとなった「沖縄市ファミリー・サポート・センター(ファミサポ)」の設立20周年を記念し、沖縄市福祉文化プラザにおいて式典が開催されました。

式典には、桑江市長、県職員をはじめスタッフら約100人が出席し、與座初美センター長よりファミサポの活動に尽力したサポーターやアドバイザーへ表彰状が贈呈されました。



7/31~8/6 台風6号猛威を振るう

大型で非常に強い台風6号(カーン)が沖縄本島に接近し、ゆっくりとした速度で、一度沖縄本島付近を通過した後、Uターンして再び沖縄地方を暴風域に巻き込み、猛威を振りました。

市内各地で停電や断水が発生し、倒木や土砂災害、床下浸水など多くの爪痕を残しました。市では充電ステーションの設置や緊急給水などを実施。また、避難所が停電などの影響を受ける中、防災機能を備えた沖縄アリーナを避難所として初めて活用しました。

